

各位

小野薬品工業株式会社

GPIF が採用する ESG 投資指数の 5 つの構成銘柄への継続選定

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：相良 暁、以下「当社」）は、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が ESG（Environment：環境、Social：社会、Governance：ガバナンス）投資のために採用する株価指数「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」、「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」、「FTSE Blossom Japan Index」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の 5 つの構成銘柄に本年も継続選定されましたので、お知らせします。

また、2023年4月に GPIF が新たに採用した「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index（GenDi J）*」においても構成銘柄に選定されました。

【GPIF が採用する ESG 投資指数】 （ ）内は運用開始年月

- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数（2017年7月）： 2019年より5年連続
MSCI ジャパン IMI トップ700 指数構成銘柄の中から、業種ごとに ESG 評価に優れた日本企業が選定されます。
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）（2017年7月）： 2022年より2年連続
MSCI ジャパン IMI トップ700 指数構成銘柄の中から、性別多様性に優れた日本企業を対象にして選定されます。
- ・ FTSE Blossom Japan Index（2017年7月）： 2018年より6年連続
ロンドン証券取引所グループの一企業である FTSE Russell 社が開発した指数であり、ESG の対応に優れた日本企業が選定されます。
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数（2018年9月）： 2018年より6年連続
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社と東京証券取引所（TOPIX）が共同で開発した ESG 指数の一つです。TOPIX の構成銘柄を対象とし、時価総額をベースに、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準（売上高当たり炭素排出量）によって、構成銘柄のウエイトが決定されます。
- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年3月）： 2022年より2年連続
FTSE Russell 社が開発した指数であり、ESG の対応に優れた日本企業が選定されます。本インデックスは、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみが選定されます。
- ・ Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt 指数（GenDi J）（2023年4月）：初回

この他、2001年に運用が開始された ESG 投資家向けのベンチマークで、ESG の対応に優れた企業が選定される FTSE4Good Index Series にも 2018年より6年連続で選定されています。

当社は、今後も「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、事業戦略に ESG の視点を取り入れ、社会の持続的発展に貢献するとともに、持続的な企業の価値向上に取り組んでまいります。

当社グループの ESG への取組の詳細については、当社ウェブサイトのサステナビリティページをご参照ください（<https://sustainability.ono.co.jp/ja>）。

* : Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J) は、Equileapが提供するデータと評価手法を活用し、確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、およびジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点を置いて構成された指数です。

(Equileap社は、オランダ、アムステルダムに拠点を置き、企業セクターのジェンダー間の平等に関するデータや調査・分析で業界をリードする企業です。)

以上

<本件に関する問い合わせ>

小野薬品工業株式会社

広報部

TEL : 06-6263-5670